

FAニュース 2017年 9月号

今回は、生産現場での生産管理システムのご紹介です。

多品種・小ロット化が進む昨今の生産現場において、生産管理システムの導入は無駄を省き稼働率アップに繋がり、不良品発覚のトレーサビリティを迅速に行う事により品質向上にも効果的です。

富士エンジニアリングが考える 生産管理システム

各設備の稼働率

各設備の稼働率

停止時間、復旧にかかった時間等を記録し、設備ごと またはラインごとに出力が可能。

在庫管理

製作ワークの個数から作り貯めの個数、また設備の消耗品の個数も表示が可能。

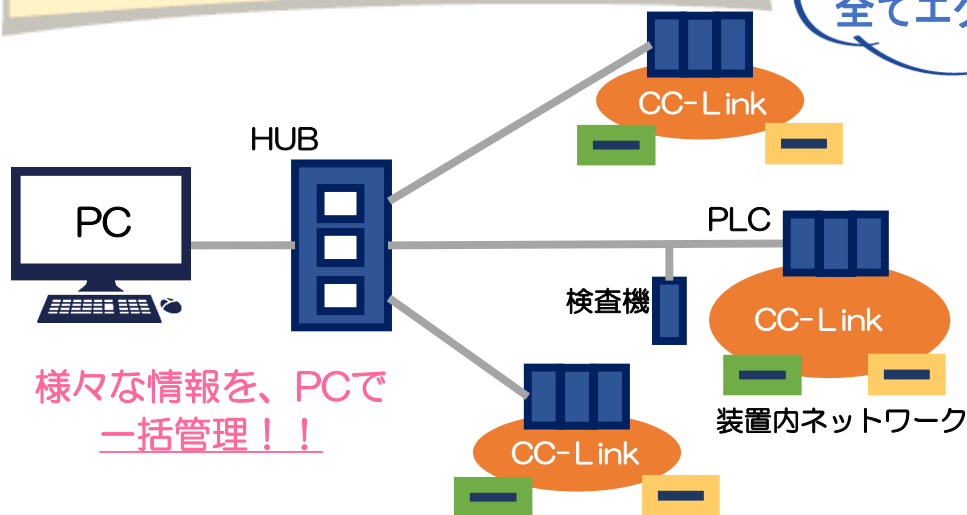
トレーサビリティ

製造年月日、製品名、検査記録、出荷先、製造ライン名等をコンピュータ内に記録し、トレーサビリティ管理を実施。

これらの情報は
全てエクセル形式で出力が可能！

トレーサビリティ 在庫管理

総合的な生産管理システムの一元化実現



ポピン自動梱包搬送装置



糸を巻きつけたポピンの出荷工程を自動化。

ハンドリング
↓
箱詰め
↓
搬出

医療機器 箱詰め梱包ライン



製品を向け先別に振り分ける設備。
向け先国に合わせてラベリング及び画像処理で検査確認後梱包し出荷。



FUJI
Engineering
Co.,Ltd.

〒379-2303
群馬県太田市寄合町19-143

URL: <http://www.fuji-eg.co.jp> E-mail: eigyoun@fuji-eg.co.jp
TEL. 0277-78-6262 FAX. 0277-78-6011 担当：営業部まで